

答 弁 書

あなたの氏名を書いて、
認め印を押してください。

予納郵便切手	円	取 扱 者
<input type="radio"/> <input type="radio"/> 家庭裁判所 令和 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日 御 中		
事件番号		被告の記名押印 甲 野 太 郎
令和 <input type="radio"/> 年 (家ホ) 第 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 号 離 婚 等 請求事件		
原告	甲 野 花 子	
被告	フリガナ 氏 名	コウノ タロウ 甲 野 太 郎
	住 所	〒 <input type="radio"/> <input type="radio"/> - <input type="radio"/> <input type="radio"/> 電話番号 <input type="radio"/> <input type="radio"/> (<input type="radio"/> <input type="radio"/>) <input type="radio"/> <input type="radio"/> ファクシミリ () 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇マンション〇〇号 () 方
送達場所	被告に対する書類の送達は、次の場所に宛てて行ってください。 <input type="checkbox"/> 上記住所 <input type="checkbox"/> 勤務先 (勤務先の名称 ()) 〒 - 電話番号 () 住 所	
	その他の場所 (被告又は送達受取人との関係 実家) 等 の届出	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〒 <input type="radio"/> <input type="radio"/> - <input type="radio"/> <input type="radio"/> 電話番号 <input type="radio"/> <input type="radio"/> (<input type="radio"/> <input type="radio"/>) <input type="radio"/> <input type="radio"/> 住 所
添 付 書 類	<input checked="" type="checkbox"/> 乙第 1 号証 ~ 第 3 号証 <input type="checkbox"/> 証拠説明書 <input type="checkbox"/>	
請求(及び申立て)の 趣旨に対する答弁	<input checked="" type="checkbox"/> 1 原告の請求を (いずれも) 棄却する。 2 訴訟費用は、原告の負担とする。 との判決を求めます。 <input type="checkbox"/>	

答弁書を提出する
裁判所と答弁書の作
成日を書いてくださ
い。

あなたに対して
裁判所から書類を送
る場合にどこ宛てに送
ってほしいか希望す
る場所 (送達場所)
のをレ点でチェッ
クしてください。以
後あなたに対する書
類はこの届出場所に
宛てて送ることにな
ります。
あなたの勤務先に
書類を送ってほしい
場合は、「勤務先」の
をレ点でチェッ
クし、勤務先の名称と
その住所を書いてく
ださい。
あなたの住所でも
勤務先でもない場所
(例えば、あなたの
実家など)に書類を
送ってほしい場合に
は、「その他の場所」
のをレ点でチェッ
クし、「被告又は送
達受取人との関係」
の部分に「実家」な
どと書き、その住所
を書いてください。

裁判所からあなた
に送った期日呼出状
に記載されている事
件番号、事件名を書
いてください。

届出場所において、
あなたの代わりにあ
なた宛ての書類を受
け取る人 (送達受取
人) を届け出る場合
には、このをレ点
でチェックし、その
人の氏名を、「被告と
の関係」の部分にあ
なたとの関係を書い
てください。
この届出をすると、
以後あなたに対する
書類は、送達受取人
に宛てて送ること
になり、送達受取人
が受け取ったこと
により、あなたが受
け取ったことにな
ります。

答弁書と一緒に提
出する書類を書い
てください。

※ 被告から提出する
証拠書類 (書証) を
「乙第〇号証」、原
告から提出する証拠
書類を「甲第〇号証」
と呼びます。証拠と
して提出する書類が
ある場合は、その写
し (コピー) を答弁
書と一緒に送って
ください。
※ 証拠とする書類の
原本は、指定された
裁判の期日にお持
ください。

「原告の請求を (いずれも) 棄却する。」というのは、「原告の
請求は (いずれも) 認めない。」という意味です。次の場合に該当
します。
○ 離婚したくない。
○ 離婚についてはやむを得ないと思っているが、その他 (離婚の
原因、親権者の指定、養育費、財産分与、慰謝料など) につい
ては争いがあるため、離婚についても認められない。
※ 訴訟費用とは、原告が裁判所に納めた申立手数料、証人に支払う旅費や日
当などのことです。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 の部分は、該当するものにレ点を付けてください。
(1 ページ)

裁判所から送った訴状に記載されている「請求の原因等」を読んで、あなたの言い分に該当する□をレ点でチェックしてください。

訴状のどの部分についてか、できるだけ特定してください。

上記のほかに、訴状に記載された原告の言い分に対して、あなたの言い分がある場合には、その言い分を書いてください。

未成年の子がいる場合は、離婚と同時に親権者を指定します。
裁判所が親権者を指定するにあたり、参考となる事情や考慮してほしい事情があれば、詳しく書いてください。

財産分与を請求されている場合、婚姻中に作った財産は何か、その財産を作った経緯、財産を作る過程で被告がどのように貢献してきたかなどの参考となる事情や考慮してほしい事情があれば、詳しく書いてください。

養育費を請求されている場合、源泉徴収票や確定申告書をもとにした原告と被告の収入状況などの参考となる事情や考慮してほしい事情があれば、詳しく書いてください。

請 求 の 原 因 等 に 対 す る 答 弁

1 訴状に請求の原因等として記載されている事実について

すべて間違いありません。

次の部分が間違っています。

(1) 請求原因第○項のうち、・・・については間違っています。実際には・・・でした。

(2) ・・・

.....

.....

.....

.....

次の部分は知りません。

(1) 請求原因第○項のうち、・・・については知りません。

(2) ・・・

.....

.....

.....

.....

2 私の言い分は次のとおりです。

(1) 離婚原因について

.....

(2) 親権者の指定について

.....

(3) 財産分与について

夫婦の財産は、・・・なので(乙1号証、2号証)、財産分与としては○○○万円が相当です。

(4) 養育費について

被告の収入は、・・・なので(乙3号証)、養育費として子一人につき月○万円が相当です。

答弁書を原告へ送付する方法 (原告代理人 原告) に (普通郵便 ファクシミリ) により送付します。
 原告(代理人)へは、裁判所から送付してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分は、該当するものにレ点を付してください。
(2 ページ)

答弁書を原告又はその代理人に送付する方法を記載してください。

※ あなたから原告又はその代理人に答弁書を送付できない場合は、裁判所から送りますので、郵便切手を裁判所に提出してください。郵便切手の額は、担当者に確認してください。